



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 03-5908-0161

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

平成25年12月3日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,657	10.3	1,166	55.9	1,200	93.1	744	169.9
25年3月期第2四半期	16,005	6.7	748	121.7	621	274.2	275	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,750百万円 (947.0%) 25年3月期第2四半期 167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	57.59	57.09
25年3月期第2四半期	21.42	21.33

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,413	51.7	19,562	51.7		
25年3月期	34,760	49.8	18,012	49.8		

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 18,826百万円 25年3月期 17,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	18.3	3,600	43.4	3,300	35.2	1,900	85.7	147.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,524,100 株	25年3月期	13,524,100 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	589,350 株	25年3月期	604,300 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,921,013 株	25年3月期2Q	12,871,800 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

連結経営成績 (会計期間) (平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,661	12.7	806	32.4	780	32.1	513	53.4
25年3月期第2四半期	8,575	1.9	608	33.9	590	89.9	334	89.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 741百万円 (638.9%) 25年3月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	39.73	39.36
25年3月期第2四半期	26.01	25.90

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
第2四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
第2四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、北米では全般的な回復基調が持続し、減速基調にあった中国経済にも底打ちの兆しがみられました。一方欧州では、金融不安後の停滞感が払拭できないといった不安要素があります。わが国においては、景気回復の期待が高まっていますが、設備投資増加には、やや懐疑的な見方もみられ、投資には依然として慎重な姿勢が続いています。

このような環境の下、当社グループにおいては、中期経営計画の3年目として、計画の実現性を高めるべく、①アジアを中心とした新興市場への事業展開、②製品ラインナップの強化、③生産及び調達のグローバル展開、④クレーンビジネス体制の構築への取り組みを継続しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、17,657百万円（前年同期比10.3%増）と増収となりました。利益につきましては、連結営業利益1,166百万円（前年同期比55.9%増）、連結経常利益1,200百万円（前年同期比93.1%増）、連結四半期純利益744百万円（前年同期比169.9%増）と、いずれも増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社および連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
日本	9,976百万円 (6.5%減)	1,697百万円 (21.4%増)
米州	5,585百万円 (22.4%増)	412百万円 (363.2%増)
中国	3,916百万円 (16.9%増)	401百万円 (19.9%増)
アジア	2,259百万円 (39.5%増)	5百万円 (前年同期は38百万円の営業損失)
欧州	703百万円 (24.1%増)	2百万円 (前年同期は54百万円の営業損失)

(日本)

売上高は9,976百万円（前年同期比6.5%減）、そのうち日本国内向けの売上高は5,002百万円（前年同期比12.2%減）となりました。国内市場では設備投資に依然として慎重で、投資計画の先送りもみられるなど、設備投資が落ち込んだためです。営業利益は、輸出向けの利益率が為替の影響などで向上したことから1,697百万円（前年同期比21.4%増）と増益となりました。

(米州)

経済の全体的な回復基調を受けて、エネルギー関連ほか、幅広い業界において堅調な需要が継続しました。為替水準が円安に推移した影響もあり、日本円換算後の売上高は5,585百万円（前年同期比22.4%増）となりました。生産性の向上と、一部製品の現地生産によるサプライチェーン合理化により、営業利益は前年同期の89百万円から、412百万円（前年同期比363.2%増）へと大きく増加いたしました。

(中国)

売上高は3,916百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益は401百万円（前年同期比19.9%増）となりました。景気回復の足取りは依然として重いものの、ほぼ前年並みの需要が継続しました。

(アジア)

タイ及びインドネシアを中心に、主に日系自動車関連産業を中心とする投資活動が堅調に推移した結果、売上高は2,259百万円（前年同期比39.5%増）となりました。営業利益は5百万円となり、前年同期の38百万円の営業損失から改善いたしました。設備投資増加に伴うクレーン需要に応えるべく、韓国工場、タイ第2工場が、それぞれ稼働を開始しております。

(欧州)

為替水準が円安に推移した影響もあり、売上高は703百万円と前年同期に比べて24.1%増加いたしました。営業利益は2百万円と、前年同期の54百万円の営業損失から改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は36,413百万円と前連結会計年度末に対し1,653百万円増加いたしました。これは、商品及び製品の増加452百万円、仕掛品の増加855百万円、建物及び構築物の増加444百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は16,851百万円と前連結会計年度末に対し102百万円増加いたしました。これは、短期借入金の減少324百万円、未払費用の減少141百万円、長期借入金の増加848百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は19,562百万円と前連結会計年度末に対し1,550百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加614百万円、為替換算調整勘定の増加877百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は4,217百万円となり、前連結会計年度末に比べて85百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,074百万円と前年同期比2,524百万円収入増となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,195百万円、売上債権の減少が1,948百万円、たな卸資産の増加が1,040百万円、法人税等の支払額が678百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,190百万円と前年同期比1,721百万円支出増となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1,715百万円、投資有価証券の取得による支出が158百万円、無形固定資産の取得による支出が177百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは73百万円と前年同期比427百万円収入増となりました。これは、短期借入金の返済による支出が956百万円、長期借入れによる収入が1,028百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日付で修正の発表をいたしました。通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,140	4,224
受取手形及び売掛金	7,918	6,316
商品及び製品	7,869	8,322
仕掛品	1,295	2,150
原材料及び貯蔵品	924	1,042
その他	1,673	2,125
貸倒引当金	△46	△35
流動資産合計	23,775	24,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,204	3,649
機械装置及び運搬具（純額）	2,377	2,637
その他（純額）	2,943	3,138
有形固定資産合計	8,526	9,425
無形固定資産		
のれん	489	382
その他	316	485
無形固定資産合計	806	868
投資その他の資産		
繰延税金資産	702	748
その他	938	1,217
投資その他の資産合計	1,641	1,966
固定資産合計	10,973	12,259
繰延資産	11	8
資産合計	34,760	36,413

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,955	4,871
短期借入金	2,308	1,984
未払費用	1,483	1,342
未払法人税等	490	551
引当金	403	428
その他	1,868	1,595
流動負債合計	11,510	10,773
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	1,783	2,632
退職給付引当金	2,133	2,150
役員退職慰労引当金	136	147
その他	183	148
固定負債合計	5,237	6,077
負債合計	16,748	16,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,199	5,201
利益剰余金	9,622	10,237
自己株式	△544	△530
株主資本合計	18,254	18,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	△6
為替換算調整勘定	△929	△51
その他の包括利益累計額合計	△937	△58
新株予約権	45	43
少数株主持分	649	692
純資産合計	18,012	19,562
負債純資産合計	34,760	36,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,005	17,657
売上原価	10,908	11,387
売上総利益	5,097	6,270
販売費及び一般管理費	4,348	5,103
営業利益	748	1,166
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	0	0
為替差益	—	31
その他	86	98
営業外収益合計	98	141
営業外費用		
支払利息	41	73
為替差損	142	—
その他	41	33
営業外費用合計	225	107
経常利益	621	1,200
特別利益		
持分変動利益	—	2
負ののれん発生益	—	10
保険解約返戻金	—	4
特別利益合計	—	17
特別損失		
保険解約損	2	—
減損損失	—	5
固定資産除却損	—	16
特別損失合計	2	22
税金等調整前四半期純利益	618	1,195
法人税等	292	413
少数株主損益調整前四半期純利益	326	782
少数株主利益	50	37
四半期純利益	275	744

四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	326	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	1
為替換算調整勘定	△152	967
その他の包括利益合計	△158	968
四半期包括利益	167	1,750
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	1,623
少数株主に係る四半期包括利益	87	127

第2四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結会計期間 （自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結会計期間 （自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
売上高	8,575	9,661
売上原価	5,789	6,290
売上総利益	2,785	3,370
販売費及び一般管理費	2,176	2,564
営業利益	608	806
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	0	—
その他	36	42
営業外収益合計	43	48
営業外費用		
支払利息	20	39
為替差損	32	16
その他	8	18
営業外費用合計	61	74
経常利益	590	780
特別損失		
固定資産除却損	—	16
特別損失合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	590	763
法人税等	225	226
少数株主損益調整前四半期純利益	365	536
少数株主利益	30	23
四半期純利益	334	513

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	365	536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	0
為替換算調整勘定	△260	204
その他の包括利益合計	△264	204
四半期包括利益	100	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108	693
少数株主に係る四半期包括利益	△7	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	618	1,195
減価償却費	373	443
減損損失	—	5
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△11	15
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△15	10
受取利息及び受取配当金	△12	△11
支払利息	41	73
売上債権の増減額（△は増加）	1,288	1,948
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,150	△1,040
仕入債務の増減額（△は減少）	△234	△343
未払費用の増減額（△は減少）	△189	△173
その他	360	726
小計	65	2,835
利息及び配当金の受取額	2	10
利息の支払額	△44	△96
法人税等の支払額	△474	△678
法人税等の還付額	1	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△449	2,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△486	△1,715
有形固定資産の売却による収入	1	5
有形固定資産の除却による支出	—	△16
無形固定資産の取得による支出	△23	△177
投資有価証券の取得による支出	—	△158
定期預金の預入による支出	—	△129
関係会社株式の取得による支出	—	△45
投資その他の資産の増減額（△は増加）	51	60
その他	△11	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468	△2,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,033	576
短期借入金の返済による支出	△945	△956
長期借入れによる収入	—	1,028
長期借入金の返済による支出	△110	△233
社債の償還による支出	△150	△150
配当金の支払額	△128	△129
少数株主への配当金の支払額	△27	△56
自己株式の売却による収入	—	11
その他	△27	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△354	73
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	127
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,297	85
現金及び現金同等物の期首残高	5,328	4,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,030	4,217

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	6,263	4,563	3,271	1,339	566	16,005	—	16,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,400	0	79	279	0	4,760	△4,760	—
計	10,664	4,564	3,351	1,619	566	20,766	△4,760	16,005
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	1,398	89	334	△38	△54	1,729	△981	748

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△981百万円には、セグメント間取引消去△251百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△729百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	5,635	5,579	3,853	1,887	701	17,657	—	17,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,340	6	63	371	1	4,783	△4,783	—
計	9,976	5,585	3,916	2,259	703	22,441	△4,783	17,657
セグメント利益	1,697	412	401	5	2	2,519	△1,353	1,166

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,353百万円には、セグメント間取引消去△503百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△849百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」において、稼働見込がなくなった遊休資産について、それぞれの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては5百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「アジア」において、当社連結子会社であるSIAM KITO CO., LTD.の株式追加取得時に取得原価が、減少する少数株主持分の金額を下回ったため、その超過額を負ののれん発生益として認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10百万円であります。